

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月11日

上場会社名 ITホールディングス株式会社  
 コード番号 3626 URL <http://www.itholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡本 晋  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 浦田 幸夫  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 03-6738-7557

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	66,934	—	△362	—	△118	—	△457	—
20年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△5.40	—
20年3月期第1四半期	—	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
21年3月期第1四半期	273,371	—	137,622	—	45.1	—	1,455.89	
20年3月期	—	—	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 123,397百万円 20年3月期 100百万円

(注) 当社は平成20年4月1日に、TIS株式会社と株式会社インテックホールディングスとの経営統合による共同持株会社として設立しました。従いまして、前年同四半期及び前期の実績は記載していません。

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	27.00	27.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	160,000	—	8,000	—	8,300	—	3,900	—	45.15
通期	340,000	—	22,000	—	22,000	—	11,000	—	127.36

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無  
 ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 86,372,339株 20年3月期 一株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 1,614,857株 20年3月期 一株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 84,762,083株 20年3月期第1四半期 一株

## ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)および「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、サブプライム住宅ローン問題を背景とする米国経済の停滞に加え、原油・原材料価格や生活関連物品の高騰などにより、個人消費が伸び悩み、企業の景況感が慎重さを増すなど、景気の減速度合いがさらに深まる状況となりました。

情報サービス産業では、最新の日銀短観（平成20年6月調査）において、ソフトウェア投資額が引き続き高水準で推移する見通しとなっています。これは、事業基盤強化など、企業においてソフトウェア投資が、優先順位の高いテーマであることを示していると考えられます。その一方で、最近の景気動向を受けて、一部の企業で投資抑制の動きも見られるようになりました。

さて、当社は平成20年4月1日に、T I S株式会社と株式会社インテックホールディングスとの経営統合による共同持株会社として設立しました。設立後、グループ各社間の情報連携なども円滑に進んでおり、その成果は共同受注などで表れ始めています。

T I S株式会社では、過年度より継続中の大型案件が最終段階にあり、システムのより円滑な稼働開始に向けて細部にわたる調整を行い、今後発生が見込まれる費用を引当処理しております。

株式会社インテックでは、製造卸業向け開発案件において顧客と協議した結果、さらなる品質の確保のために、稼働開始時期を延長することとし、今後発生が見込まれる費用を引当処理しております。

その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は66,934百万円、営業損失362百万円、経常損失118百万円、四半期純損失457百万円となりました。

尚、分野別の業績は次の通りであります。

#### ①アウトソーシング・ネットワーク分野

当分野では、データセンタを活用して、受託運用サービスやシステムオペレーション、ネットワーク構築などのサービスを提供しています。当第1四半期連結会計期間の売上高は、主要顧客向けの売上が増加したことなどから、28,768百万円となりました。

#### ②ソフトウェア開発分野

当分野では、情報システムの企画提案から構築まで、総合的に提供するシステムインテグレーションサービスを提供しています。当第1四半期連結会計期間の売上高は、大型案件にかかわる売上が計上されたほか、新規案件の寄与があったことなどから、28,895百万円となりました。

#### ③ソリューション分野

当分野では、ソフトウェア及び機器の販売を主業としています。当第1四半期連結会計期間の売上高は、6,361百万円となりました。

#### ④その他の分野

当分野は、リースなど情報システムを提供するうえでの付随的なサービスで構成されます。当第1四半期連結会計期間の売上高は、2,910百万円となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、273,371百万円となりました。このうち、流動資産は115,267百万円、固定資産は158,103百万円となりました。一方、負債は135,748百万円、純資産は137,622百万円となり、純資産のうち少数株主持分は14,225百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間に、期初想定外の追加コストを伴う案件が一部発生しましたが、共同受注など統合効果が表れ始めていることや、グループ各社が主要顧客のIT投資ニーズを的確に捉えた事業展開を行っていることから、期初計画に対して事業活動は順調に推移しています。

従いまして、平成20年5月15日に公表した業績予想を変更いたしません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
(簡便な会計処理)

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が当期首に算定したものと著しい変化がないと認められる場合、当期首の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定する方法を採用しております。

②棚卸資産の評価方法

一部の連結子会社は、棚卸資産の簿価切下げに関して、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、当期首以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、当期首において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末  
 (平成20年6月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	32,305
受取手形及び売掛金	34,290
有価証券	3,016
商品及び製品	3,055
仕掛品	20,555
原材料及び貯蔵品	212
繰延税金資産	14,799
その他	7,097
貸倒引当金	65
流動資産合計	115,267
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物(純額)	51,837
機械装置及び運搬具(純額)	5,462
土地	22,509
貸与資産(純額)	2,912
その他(純額)	5,138
有形固定資産合計	87,861
無形固定資産	
のれん	2,105
その他	10,203
無形固定資産合計	12,309
投資その他の資産	
投資有価証券	33,364
繰延税金資産	6,723
前払年金費用	2,833
差入保証金	9,916
その他	7,501
貸倒引当金	2,407
投資その他の資産合計	57,932
固定資産合計	158,103
資産合計	273,371

(単位：百万円)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成20年6月30日)

<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	14,884
短期借入金	15,346
1年内償還予定の社債	8,000
未払法人税等	778
賞与引当金	5,343
その他の引当金	31
その他	23,564
流動負債合計	67,949
固定負債	
社債	15,600
長期借入金	38,713
退職給付引当金	7,297
役員退職慰労引当金	241
繰延税金負債	2,241
再評価に係る繰延税金負債	1,064
その他	2,640
固定負債合計	67,798
負債合計	135,748
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	10,000
資本剰余金	86,315
利益剰余金	31,362
自己株式	2,840
株主資本合計	124,836
評価・換算差額等	
その他有価証券評価差額金	1,523
土地再評価差額金	2,922
為替換算調整勘定	39
評価・換算差額等合計	1,439
新株予約権	0
少数株主持分	14,225
純資産合計	137,622
負債純資産合計	273,371

( 2 ) 四半期連結損益計算書  
( 第 1 四半期連結累計期間 )

( 単位 : 百万円 )

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 6 月30日)
売上高	66,934
売上原価	57,640
売上総利益	9,293
販売費及び一般管理費	9,656
営業損失 ( )	362
営業外収益	
受取利息	20
受取配当金	367
負ののれん償却額	239
その他	170
営業外収益合計	798
営業外費用	
支払利息	281
持分法による投資損失	7
創立費	110
その他	155
営業外費用合計	554
経常損失 ( )	118
特別利益	
投資有価証券売却益	7
貸倒引当金戻入額	37
その他	6
特別利益合計	51
特別損失	
固定資産除却損	121
投資有価証券評価損	28
その他	28
特別損失合計	178
税金等調整前四半期純損失 ( )	245
法人税、住民税及び事業税	673
法人税等調整額	648
法人税等合計	25
少数株主利益	186
四半期純損失 ( )	457

「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前四半期に係る財務諸表等

当社は、平成20年4月1日にT I S株式会社と株式会社インテックホールディングスとの共同株式移転により設立されたため、前四半期に係る財務諸表等については記載しておりません。

科目	T I S㈱ (連結) 前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)	㈱インテックホールディングス (連結) 前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
I 売上高	38,648	25,318
II 売上原価	32,281	21,282
売上総利益	6,366	4,035
III 販売費及び一般管理費	6,052	2,820
営業利益	314	1,215
IV 営業外収益	632	219
V 営業外費用	242	364
経常利益	704	1,071
VI 特別利益	13	52
VII 特別損失	37	81
税金等調整前四半期純利益	680	1,042
法人税・住民税及び事業税	630	1,130
法人税等調整額	△298	△758
少数株主利益(△)又は損失	△314	14
四半期純利益	34	655



(参考)

平成20年8月11日  
ITホールディングス株式会社

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信 補足資料

## 【ITホールディングス連結】

## 1.品目別売上高

(単位：百万円)

期別 サービス品目	平成21年3月期						(進捗率) A / B
	第1四半期 連結累計期間 (実績)[ A ]		第2四半期 連結累計期間 (予想)		通期 (予想)[ B ]		
	自平成20年4月1日 至平成20年6月30日		自平成20年4月1日 至平成20年9月30日		自平成20年4月1日 至平成21年3月31日		
	(金額)	(構成比)	(金額)	(構成比)	(金額)	(構成比)	
アウトソーシング ネットワーク	28,768	43.0%	58,500	36.6%	120,000	35.3%	24.0%
ソフトウェア開発	28,895	43.2%	81,500	50.9%	178,500	52.5%	16.2%
ソリューション	6,361	9.5%	16,500	10.3%	34,500	10.1%	18.4%
その他	2,910	4.3%	3,500	2.2%	7,000	2.1%	41.6%
合計	66,934	100.0%	160,000	100.0%	340,000	100.0%	19.7%

## 2.受注高及び受注残高

(単位：百万円)

期別 サービス品目	受注高		受注残高	
	当期 第1四半期連結累計期間 (平成20年4月～6月)		当期 第1四半期連結累計期間末 (平成20年6月30日)	
	(金額)		(金額)	
ソフトウェア開発	35,153	78,527		

アウトソーシング・ネットワークサービスは継続業務でありますので、ソフトウェア開発についてのみ記載しております。